

広報誌
平成23年 秋号
医療法人社団 三光会
誠愛リハビリテーション病院

誠愛TIMES

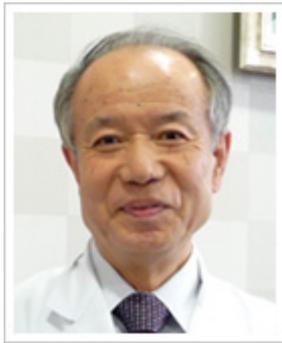
- ◆黒川名誉院長 瑞宝中綬章
- ◆第19回 さわやかサマーコンサート

- ◆看護の豆知識 褥瘡編
- ◆学会報告
- ◆栄養課より

患者さんの権利宣言

安全で良心的な一貫した医療を受ける権利
個人の尊厳とプライバシーを守る権利
自らのことを知り、説明を受ける権利また苦情を申し立てる権利
医療機関或いは医療行為を選択・決定し、或いは拒否する権利
患者さんの日常生活に配慮した医療を受ける権利

ずいほうちゅうじゅしょう
黒川名誉院長 瑞宝中綬章おめでとございます！



叙勲を受けて

この度、平成 23 年春の叙勲を受けた。叙勲は私にとって身に余るものであり、感謝するのみである。小児科医になって 49 年、障害のある子どもの診察と小児神経学の研究に当たってきた。九州大学医学部小児科、ハーバード大学医学部神経科・小児科、上越教育大学障害児教育講座、国立精神・神経センター小児神経科を経て、平成 4 年から平成 13 年まで国立療養所西別府病院に奉職した。

いずれの時代にも診療に当たっては、医師、看護師、事務ほか多くの方々の絶えざるご協力があった。西別府病院では院長として病院の運営にも当たらせて頂いた。西別府病院は結核、重症心身障害児・者、筋ジストロフィー症、進行性神経難病、小児慢性疾患など民間では困難な疾患について、国としての政策医療を推進する役割を持った医療機関として位置づけされていた。子どもの心の問題が大きくなっていったことから、国立療養所としては稀である小児神経科を開設した。厚生労働省重症心身障害研究班主任研究員などをさせて頂き、全国の多くの方々とこの方面の研究を推進することができた。

5月中旬に受章の内示と思われるものがあり、6月18日に新聞発表があった。東日本大震災のために例年より発表が遅れたとの事であった。

7月5日厚生労働省講堂で瑞宝中綬章を、細川律夫厚生労働大臣から直接頂いた。それを着用して、バスに乗り皇居に向かった。猛暑の中楠正成公の銅像の近くのお茶屋で1時間ばかり待った。皇居に入るといふことで皆、神妙にし、緊張していた。いよいよ皇居に入り、長い廊下を移動した。皇居は、建物も庭もきれいできわめて格調高かった。数百人が春秋の間で陛下のご到着を待った。この間係官より拝謁に当たっての注意や建物の説明があった。受章者は高齢の方が多かったが、車椅子の人もあり、人に支えてもらわないと立てない方には付き添いがついていらっしやう。やがて天皇陛下がお出になり、壇上に立たれ、国民のため・社会のために尽くしたとお言葉遣いを頂いた。陛下は、数百人の受章者のまわりをゆっくりと歩かれ、お声をかけながら、終始にこやかにされていた。

父は県会議員として、義父は医師会長として叙勲し今はいない。これを生涯の一里塚として今後さらに励みたい。

(医局 黒川 徹)



黒川名誉院長は日頃から穏やかで粋な会話で患者さんやスタッフを和ませて下さる素敵な先生です。これからも宜しくお願いします！

この度「**一步一步～小児神経科医のあゆみ**」を出版されています。若い頃から現在までの院長のお話が詳しく書かれています。お近くの書店へどうぞ！

編集部より

第19回さわやかサマーコンサート

今回8月24日(水)の午後から当院研修室においてエスニックアトリエさんをお招きして、第19回さわやかサマーコンサートを開催しました。ユーホニウムやカホンといった変わった楽器から良く見たことのある電子ピアノとフルートの4名での楽器構成で、大変息の合った演奏でした。約1時間という短い時間の中で、「川の流れるように」「上を向いて歩こう」といった懐かしい曲を4曲、オリジナル曲を4曲の計8曲を演奏していただきました。

エスニックアトリエの皆さんからは、1時間という短い時間の中で、できるだけたくさん演奏し、みなさんに楽しんで聞いていただけるように、選曲にも工夫をされたそうです。その甲斐あってか、会場からは懐かしい曲に合わせて一緒に歌われる声や笑い声なども聞かれ、最後には冬のソナタの主題歌を演奏してほしいといったびっくりしたアンコールも会場から飛び出すなど、終始賑やかな雰囲気の中でエスニックアトリエの皆さんも気持ちよく演奏ができたと話されていました。

会場全体でサマーコンサートを楽しむことができ本当に良かったと思います。

セットリスト1：サマー、2：はるかモモ、3：翼をください、4：ダンス
5：アベマリア、6：風花、7：川の流れるように、8：上を向いて歩こう



(リハビリテーション部 作業療法士 古賀 孝治)

今回は、床ずれ（褥瘡：じょくそう）についてお話します。

Q 床ずれ（褥瘡）とは？

A 床ずれのことを、医学用語で「褥瘡：じょくそう」と言います。褥は敷き布団、瘡は皮膚の病のことを意味します。つまり、布団で寝たきりになってできる皮膚の傷という意味です。

Q どうして床ずれができるの？

A 寝ている時に自分で寝返りができない人や、車椅子に座っていて自分で姿勢を変えられない人は、同じ姿勢を長時間続けることで、体重が一定の部分（特に骨が出っ張った部分）にかかってしまいます。その体重の圧力で、皮膚の血流が悪くなり細胞が死んで、床ずれができてしまいます。

その他にも、栄養状態が悪いこと、やせている、高齢、病気など様々なことが関係しています。

Q 床ずれをつくらないためにはどうしたらいいの？

A 1. 皮膚をこまめに観察しましょう。

オムツをかえる時、姿勢をかえる時に皮膚が赤くなっていないかを見ます。

2. 圧迫を少なくしましょう。

できるだけこまめに姿勢をかえましょう。皮膚が赤くなっていたら床ずれの注意信号です。赤くなっているところに圧迫がかからないように姿勢をかえましょう。クッションなどを使い、2時間おきに姿勢をかえるのが理想です。皮膚に摩擦やずれがおきないようにしましょう。

介護負担を軽減するために、高機能エアマットや自動体位変換機能が付いたベッドなどもあります。

3. 皮膚を清潔にしましょう。

入浴やシャワーで皮膚を清潔にし、皮膚が乾燥しないように保湿クリームやローションで保湿しましょう。排泄物で皮膚が汚れた場合は、ぬるま湯と石鹸でやさしく汚れを落とし、皮膚をこすらないようにしましょう。

4. しっかり食事をとりましょう。

栄養バランスの良い食事を心がけましょう。

おわりに

床ずれは、一旦できてしまうと治るまでに時間がかかりますし、苦痛を伴います。一番大切なことは、床ずれができないようにすること、「予防」が一番です。当院には褥瘡対策委員会があり、院内の褥瘡発生ゼロを目指して活動を行っています。もし、床ずれのことでお困りなことがございましたら、お気軽に看護師にご相談ください。

（看護部 看護師 吉村 綾子）

「第1回日本ボバース研究会学術大会」

今年7月に東京都江東区で開催された第1回日本ボバース研究会学術大会に、リハビリテーション部より林、山下、中山、長田、大田の5名で参加してきました。当学会では「脳血管障害片麻痺患者の歩行動作に対する運動力学的解釈の一例」と題した研究発表を行い、様々なご意見やアドバイスを頂いてきました。発表した研究内容は当院が有する三次元動作解析装置を用いて、歩行障害の改善度合いや歩行方法を運動力学的に解釈して証明するといった内容です。歩行障害を有する方は多く、理学療法士である私は、歩行動作の再獲得に向けたお手伝いをしてきました。そのような経験の中で、現状の歩行動作に対する問題点を理解し共有することは非常に有益であり、そのツールとして三次元動作解析装置を用いた運動力学的説明は誰でも理解しやすい方法です。今後多くの歩行障害を有する人のために、歩行動作に対する研究を行ってきたいと思っております。

(リハビリテーション部 理学療法士 大田 瑞穂)

「第5回慢性看護学会」

今年6月に岐阜県立看護大学で開催された第5回慢性看護学会で研究発表を行いました。テーマは「自発性低下の患者に対する看護介入の一考察―患者が重視する役割を活用して―」です。自発性の低下とは脳卒中などで前頭葉に損傷を受けることで起こり、自分から行動を起こせない、周囲に関心をもちないなどの症状がみられます。今回の研究では、患者さんが重視していた教師の役割を活用して朗読を看護介入に取り入れた結果、自発性の向上が見られ、他者との交流が可能となった事例について報告しました。今回は一事例の研究でしたので、今後は事例数を増やして介入を続け、患者さんの社会復帰に貢献できるように研究に励みたいと思っております。

また、今回の学会では東日本大震災を受けて、災害支援看護師の活動報告もあり、震災後の被災地の抱える問題を肌で実感しました。突然の災害にも専門職として行動を起こせるよう、災害支援に関する知識の準備が必要であると感じました。

(看護部 看護師 松尾佐智子)



みょうがと豚肉の黒酢炒め

～食欲を促進して体力がつく～



オクラのぬめりの主成分である食物繊維（ペクチン）と多糖類の一種であるムチンという成分が豚肉のたんぱく質の吸収を助け、胃の粘膜を保護してくれる働きがあります。

また、みょうがの香り成分である α -ピネンは食欲増進作用があり、黒酢に豊富なビタミン、ミネラル、アミノ酸には血流改善効果や抗酸化作用があるとされています。

【材料】（2人分）

- ・豚ロース薄切り 100g
- ・塩コショウ 少々
- ・小麦粉 少々
- ・みょうが 4～6個
- ・オクラ 4本
- ・生しいたけ 2～3枚
- ・サラダ油 適宜
- （A） 小さじ1
- ・砂糖 大さじ1
- ・黒酢 大さじ1/2～1
- ・濃口醤油

【作り方】

1. みょうがは根元を少し切りおとし、縦半分に切る。
小さければそのまま使っても良い。
2. 豚肉は一口大に切り、塩コショウを少々ふり、小麦粉を全体に薄くまぶす。小麦粉をまぶすと調味料がよく絡む。
3. オクラはヘタの部分を包丁で薄くそぎ取り、塩でもんでサッと洗い、斜め半分に切る。椎茸は石づきを切り落とし二つに切る。
4. フライパンにサラダ油をひき、豚肉を炒める。色が変わったなら、椎茸、オクラを加えて炒める。全体に火が通ったら、みょうがを加え手早く炒める。（A）の調味料を順に加え、強火でサッと炒め合わせる。

（栄養課 管理栄養士 豊田 晃）

患者さんの権利宣言

当院はつぎにあげる患者さんの権利を尊重した医療を行います
安全で良心的な一貫した医療を受ける権利
個人の尊厳とプライバシーを守る権利
自らのことを知り、説明を受ける権利また苦情を申し立てる権利
医療機関あるいは医療行為を選択・決定し、あるいは拒否する権利
患者さんの日常生活に配慮した医療を受ける権利

医療法人社団三光会 誠愛リハビリテーション病院

編集後記

あつい日々が続いていますが皆さんは元気にお過ごしでしょうか？

少々残暑に負けそうな我々はみょうがと豚肉を買って帰ろうと思います。

明日からも元気いっぱい働きます！